

HPVワクチンの定期接種とキャッチアップ接種のご案内

令和4年（2022年）4月から、他の定期接種と同様に、「積極的な勧奨」が再開されました
また、接種機会を逃した方達への接種（キャッチアップ接種）も始まりました

HPVワクチンとは

- ・子宮頸がんをおこしやすいヒトパピローマウイルス(HPV)感染症を予防するワクチンです*
- ・子宮頸がんの原因の50～70%を予防します
- ・小学校6年～高校1年相当の女子を対象に、定期接種が行われています*
- ※ ヒトパピローマウイルス感染症とHPVワクチンの詳細は[こちら](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html)（厚労省サイトへ）
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>
- ※ 定期接種の詳細は[こちら](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html)（厚労省サイトへ）
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>

キャッチアップ接種とは*

ワクチン接種の「積極的な勧奨」が中止していた期間に、公費での接種機会を逃した方達のための接種です

- ※ キャッチアップ接種の詳細は[こちら](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html)（厚労省サイトへ）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html

キャッチアップ接種の対象者

- ・平成9年度～平成17年度生まれ（誕生日が1997年4月2日～2006年4月1日）の女性（*）
- ※ このほか、平成18(2006)・19(2007)年度生まれの方は、通常の接種対象の年齢（小学校6年から高校1年相当）を超えても、令和7(2025)年3月末まで接種できます

キャッチアップ接種が受けられる時期

令和4（2022）年4月～令和7(2025)年3月の3年間、公費で接種できます

HPVワクチンの種類とスケジュール

いずれのワクチンも、取り寄せの都合上、事前に当院へお電話でご確認ください
ワクチン接種後約30分間は、体調に変化がないか、院内で待機していただきます

- ・ガーダシル 費用； 無料（公費）
スケジュール； 1回目（任意の時期）
2回目（1回目接種から2ヶ月後）
3回目（1回目接種から6ヶ月後）
- ・シルガード9 費用； 公費対象外です（自費のみ；4万円×3回）

男性のHPVワクチン接種について

- ・HPVは、男性もかかる病気（中咽頭がん・尖圭コンジローマなど）の原因になります
- ・2020年12月から4価HPVワクチン（ガーダシル）の男性への任意接種が承認されました
- ・HPV感染は性交渉によって男女間で感染するため、本人だけでなくパートナーもHPV感染症から守ることができますので、男性へのワクチン接種もお勧めします